

超速硬性ドライモルタル スーパードライモルタル

スーパードライモルタルとは

スーパードライモルタルは、ジェットセメントを主体とした超速硬性のドライモルタルです。
練り混ぜ後3時間で実用強度が得られますので緊急工事又は工期を短縮したい場合に最適なドライモルタルです。

スーパードライモルタルの特長

- 水を加えるだけで使用OK
あらかじめ所定量の砂を工場で混合してあるため、現場では水を加えるだけで使用でき、面倒な計量は必要ありません。
- 人手を省き、場所をとらない
プレミックス品のため、省力化、在庫場所の削減につながります。
- 品質が安定
精選した材料を使用し、充分な管理体制を整えた工場にて製造しているため品質が安定しています。

スーパードライモルタルの用途

- マンホールの嵩上げ・側溝工事
- 上下水道・配管、配線工事
- 機械等の据付工事等の緊急工事
- 盲人ブロックの接着
- タイル裏地用・左官仕上げ用・家庭用（園芸、土間、各種補修）等
- その他緊急を要する諸工事



※荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

被膜養生剤



スミセエスシー

プライマー



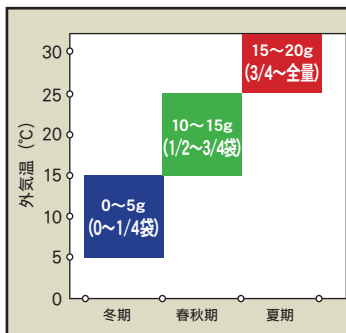
ライオンボンドA

スーパードライモルタルの標準配合例

スーパー ドライモルタル (kg)	水 (kg)	ジェット セッター	練上り量 (ℓ)
20	1.8~2.2	適量	約 9

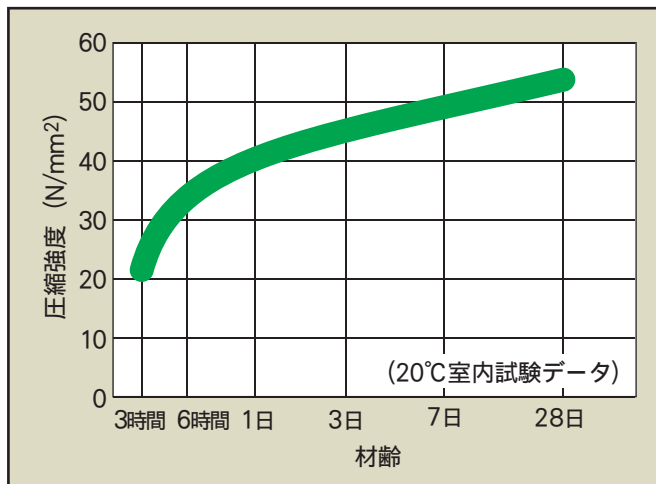
- 使用条件等により水量が変化します。試し練りを行い水量を決定し、ご使用ください。
- 凝結遅延剤（ジェットセッター）は、外気温に応じて適量を添加してください。

ジェットセッター(遅延剤)の外気温別の添加率



※ジェットセッターを使用することにより、ハンドリングタイム(可使時間)を調節することができます。
グラフを参考に外気温に応じたジェットセッター量を試し練りにより確認してください。
※同梱されているジェットセッター以外に別売もございます。

圧縮強度と材齢の関係



施工手順

使用材料

スーパードライモルタル
 水：清浄なもの
 凝結遅延剤：ジェットセッター
 被膜養生剤：スミセエスシー
 プライマー：ライオンボンDA

※スミセエスシー、ライオンボンDAは2~3倍希釈でご使用ください。

打込み

- 旧コンクリートの下地処理は十分に行ってください。打ち込んだモルタルの水分が型枠・旧コンクリートなどに吸われることがないように打ち水、もしくはプライマー処理・プラスト処理等を行ってください。
- パイプレーターで十分に締め固めてください。
- スーパードライモルタルは硬化が速いので、作業が中断しないようにしてください。
- 多層打ちを避けて、一層打ちにし、打ち継ぎ目を作らないようにしてください。
- 硬化しかかったモルタルに、水を加え練り返して使用しないでください。

表面仕上げ

- 施工可能時間は、ジェットセッター添加率により変わりますが、およそ20~30分ですので表面仕上げは早い時期に行ってください。表面仕上げ終了後、できるだけ早い時期に被膜養生剤（スミセエスシー）を噴霧器等で、均一に散布してください。
- 表面仕上げを行う際に、モルタル表面に水・混和剤をかけないでください。

計量

- 凝結遅延剤は、あらかじめ混練水によく溶かしておいてください。

養生 環境条件の違いによる養生方法の組合せ例

環境条件	10℃以上	5℃~10℃	5℃以下
皮膚養生	皮膚養生	皮膚養生	皮膚養生
保温養生	↓	保温養生	保温養生
シート養生	シート養生	シート養生	シート養生
加温養生	↓	↓	加温養生
後養生	後養生	後養生	後養生
	供 用 下		

保温養生：保温マット等による養生
 シート養生：不透水性シートによる養生
 加温養生：ジェットヒーター・電気毛布等による養生

- 養生は原則、施工後3時間以上行ってください。
- 養生中のモルタル・コンクリートには、散水等を行わないでください。
- 加温養生を行う際はモルタル・コンクリートに直接熱源や風を当てるとひび割れの原因となりますので、必ずシート養生を行ってから実施してください。

スーパードライモルタルの使用方法

※材料は番号順に投入してください。



暑中対策

- 材料温度が高いと練り上がり温度が上がり、急激な硬化の原因となりますので以下の処置を行ってください。
- 材料は直射にあたらないように保管してください。
- 外気温が30℃を超え、練り上がり温度が35℃を超えると予想できる場合は、冷水等を使用し練り上がり温度が35℃を超えないようにしてください。
- 打設後の養生は直射、風等による乾燥がおこらないよう施工後すぐにシート養生等を行ってください。

寒中対策

- 雪雪のついてる材料は、そのまま使用しないでください。
- 打ち継ぎ目のコンクリートが凍結している場合は、適当な方法でこれを溶かし、打ち継いでください。
- 材料を加温する場合は、水または骨材を加温するのが効果的です。
- 材料を加温した場合、モルタル・コンクリートの性状が異なる場合がありますのでご注意ください。
- 型枠の取り外し時は、打設個所の温度を急激に低下させないようにしてください。

使用上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。直接、皮膚に触れたり、目に入らないようにしてください。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防護眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。
- セメントの容器(袋)は完全防水仕様ではありませんので、保管は屋内で行ってください。屋外に仮置きする場合は、パレット等でかさ上げし防水シートで覆ってください。開封したセメントは、なるべく早く使用してください。
- 他のセメントと混ぜないでください。

物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。
 使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
 本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京	〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28	電話 03(5211)4752	Fax 03(3221)5624
大阪	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)	電話 06(6342)7704	Fax 06(6342)7708
札幌支店	〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)	電話 011(241)3901	Fax 011(221)1017
東北支店	〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F)	電話 022(225)5251	Fax 022(266)2516
北陸支店	〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)	電話 076(223)1505	Fax 076(223)0193
名古屋支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)	電話 052(566)3202	Fax 052(566)3273
四国支店	〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)	電話 087(851)6330	Fax 087(822)6870
広島支店	〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(住友生命広島ビル7F)	電話 082(577)7645	Fax 082(577)7646
福岡支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙と博多ビル8F)	電話 092(481)0186	Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は